

第4講内容

足立コンシェルジュ養成講座 第4講

平成22年3月28日(日) 足立区の施設・名所バス視察巡り

総合ボランティアセンター 日ノ出町27-3-102 3870-0061

足立区のボランティア活動の拠点。各種団体の活動情報提供、「ほがらか」のチラシ常備。会議室、講習室、社会福祉協議会の「高齢者身の回り応援隊」事務局などがある。

足立区の市場 千住橋戸町50 3882-4301

平成21年現在、東京都中央卸売市場は11か所あり、そのうち足立区に2か所、千住橋戸町に水産市場が、入谷の北部流通業務団地内に野菜・果物・花卉の市場がある。

東京の市場は、徳川家康が江戸城の台所を賄うため、大阪の佃町から漁師を呼び寄せ、幕府に魚を納めさせる一方、日本橋のたもとで売ることを許可したことに始まるとされる。

(東京都中央卸売市場パンフレットより) 千住の市場は原則的には卸売業者、仲卸業者、小売業者の取引のための市場だが、最近では、フェアなども開催し、個人への販路拡大を模索している。街の駅など観光基地として利用する開発企画も俎上に乗っているようだ。

千住大橋とやっちゃ場

千住大橋は、江戸幕府開府に先立つ1593年(文禄2年)、家康が伊奈備前守忠次に命じて架橋され、翌年完成した。隅田川で最初の架橋であり、工事は難航したと伝えられる。

やっちゃ場といわれた市場は、日光道中、千住宿が整備・造成され、加宿される過程で、橋のたもと、街道入口付近に自然発生したと思われる。江戸時代から街道と舟運による江戸への物産の集積地であり幕府の御用市場として、江戸の四初宿のなかで最も賑わい、鉄道も加わった明治時代から昭和初期にかけてさらに繁栄した。

大正7年の米騒動など社会不安の増大をきっかけに「中央卸売市場法」が制定され、第二次大戦による統制経済の進行の中で、やっちゃ場は千住市場へと統合された。戦後、自動車運送など流通環境の変化、高度経済成長政策による見直しなどで、市場は分割統合移転を経て現状に至っている。

ギャラクシティ (こども科学館・青少年センター) 栗原1-3-1 5242-8161

教育委員会の青少年活動の拠点、子ども会活動の支援センター。こどもの夢を育む施設として、プラネタリウム、コンピュータールームが設置されている。

都市農業公園 鹿浜2-44-1 3853-4114

自然環境館、緑の相談室、古民家、長屋門、江北の五色桜資料展示室などがある。四季折々

の花を楽しむことができ、地域の緑化のため各種講習等も盛んに開催されている。レストハウスからの展望も見どころ。

江北の五色桜

明治時代、江北から鹿浜一帯は桜の名所として知られていた。夏目漱石も花見に訪れ、新田高校には記念の石碑が建てられている。五色桜とは、ソメイヨシノの他、白、黄色、紅色など色とりどりの品種の総称である。明治末年、日米親善の証としてアメリカに贈られ、お返しにアメリカハナミズキが贈られてきた。現在、ワシントンのポトマック河畔は桜の名所として知られているが、

日本のハナミズキは一時絶滅してしまった。日本の五色桜は、荒川放水路の掘削、戦争、公害のため衰退してしまったが、近年、足立区では里帰りを実施し、よみがえりつつある。

舎人公園と日暮里・舎人ライナー 舎人公園サービスセンター 3857-2308

舎人公園は足立区西部地域に造成された流通団地、北足立市場とともに、野球場、テニスコート、バーベキュー施設などを備えた広大な都立公園である。中央を新交通日暮里・舎人線が南北に貫く。

伊興遺跡公園 東伊興4-9-7 3898-9111

古墳時代の竪穴住居が再現されている。出土品から、このあたりまで湾岸が入り込み、交易の地であったことがうかがえる。

花畑団地・花畑公園 桜花亭 花畑4-40-1

花畑団地周辺は、桜の名所となっており、純和風庭園がある桜花亭は改修中だったが、この春から公開。戦後の復興とともに、農地の多かった足立区は、大量の住宅供給地となった。各地に木造棟割二戸平屋建ての小住宅が建てられ、昭和三〇年代には、コンクリート造りの大規模な住宅団地の建設ラッシュとなった。代表的なものが、東綾瀬、西新井、竹の塚、上沼田、花畑団地などである。団地建設にともない、道路、公園、学校、ライフラインの整備が進み、区画整事業が推進され、急速に市街地化されていったが、交通網の不備は現在にいたるまで発展の阻害要因となっている。

元淵江公園と生物園 保木間2-17-1 3884-5577

竹の塚東口から徒歩15分の元淵江公園は、縁台将棋が出たり釣りが出来たり、デイキャンプも可能な、老人と子供たちの憩いの広場となっている。また、足立の4大四季イベントのひとつ、冬の「光の祭典」会場として知られる。(ちなみに春は「桜の花巡り」、夏は荒川河川敷で打ち上げられる「足立の花火」、秋は同じく荒川河川敷・虹の広場で開催される「あだち区民まつり」) 公園内に、足立区生物園があり、ホタルの育成、蝶の生態展示、

動物とのふれあい教室など意欲的な運営がなされている。

大鷲神社 花畑7-15-1

区内には源頼義、八幡太郎義家父子、義家を助ける弟新羅三郎義光に関する伝説を持つ寺社が多く残されている。奥州への古道が通っていた証といわれる。大鷲神社もその一つで、奥州に向かう義光が綾瀬川で身を清め、戦勝祈願をしたとき、上空を舞った鷲を祭ったことに始まるという縁起をもつ。無形文化財の獅子舞、お酉さまの熊手市で知られる。

葛西用水親水水路、足立区立郷土博物館 大谷田5-20-1 3620-9393

かつての用水路・葛西用水路は、親水水路として整備され、桜の名所となっている。郷土博物館は、新田開発の地だった江戸時代から近代的な市街地へと変貌する昭和時代にいたるまで、郷土の歴史と暮らしを展示している。

東綾瀬公園とスポーツ施設

東綾瀬公園は、関東大震災以後計画され、北半分だけ造成された、半馬蹄形の都立公園である。敷地内に温水プール・すいすいらんど綾瀬、野球場、テニスコートなどのスポーツ施設がある。また、斬新な建築デザインで話題になった東京武道館が隣接している。桜の名所でもあり、人工のせせらぎには、カルガモが常住、時に珍鳥が観察されるなど、豊かな緑地環境が維持されている。